

腰野 律子さん 82歳 女性

<p>1)入院後の経過 受け持つまで</p>	<p>【4月13日(入院当日)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4人部屋の窓側に入院した。同室者は2名おり、60歳代の変形性膝関節症の女性、70歳代の大腿骨頸部骨折の女性で手術後である。 ○ 尿意の訴えがあり尿器を当てるが、1回目は排尿できず。2度目には何とか排尿できた。「こんなに難しいものなのね」と苦笑していた。「夜は心配だから、おむつにしてくれないかしら」と懇願するため、おむつをすることにした。仙骨部の突出があり、組織の弾力性に低下がみられた。 ○ 食事は米飯(1600kcal)である。食事中、ギャッジアップは30度が可能である。昼食のご飯は茶碗のため食べにくいとのことで、夕食からおにぎりに変更した。味噌汁はストローを使用した。主食半分、副食6割程度摂取した。義歯を使用している。 ○ 夕食時には家族が面会にみえ、楽しそうに話していた。「家に連れて帰ってくださいよ」と息子に話すと、「今は痛みを取るのが先だろう」と言われ、閉眼してうなずいていた。夕飯は大学生の孫が介助しながら摂取した。主食8割、副食6割程度食べた。 <p>【4月14日(入院2日目)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 10時過ぎ、受け持ち開始となった。
<p>2) 医師の指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ VS:3検 ○ 安静度:ベッド上安静(体位変換は可。食事時のみギャッジアップ30度まで可) 軟性コルセット装着後は状態に合わせて離床可 ○ 清潔:ベッド上 ○ 排泄:ベッド上、尿量測定なし ○ 4/14、4/17にエルシトニン注(1回10IUを筋肉内注射) ○ 疼痛時: <ul style="list-style-type: none"> ① ロキソニン60mgを1錠、ムコスタ100mgを1錠内服。1日4回、4時間以上あけて使用可 ② 内服薬でコントロールできない場合はボルタレン座薬25mgを1日2回まで挿肛、8時間以上あけて使用可 ○ 便秘時:要相談 ○ 4/14、4/17にエルシトニン注射(1回10IUを筋肉内注射) ○ 弾性ストッキング着用 ○ Dr コール条件:BT38.0℃以上、BP160以上または90以下、HR100以上、SPO2=90%以下